学校番号	1007

令和　8　年度　　情報 科

教科	情報	科目	プログラミング	単位数	2	年次	3
使用教科書							
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プログラムのスキルを身に付けるだけでなく、論理的思考力や想像力、問題解決能力を身に付けるために簡単なプログラムから学習しましょう。
「道筋を立てて問題を解決できる力」を高めることで、「物事に柔軟に対応したり主体的に行動できる力」を身に着けてほしいと思います。

2　学習の到達目標

(1)効果的なアルゴリズムや、プログラミング的思考について理解を深め、技能を習得するとともに、プログラムの実用性について理解を深める。
(2)問題の発見や解決に向けてプログラムを効果的に活用する力を身に付ける。
(3)情報と情報技術を適切かつ効率的に活用するとともに、情報社会の発展に寄与していく態度を育み、資質・能力を高めていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プログラミングについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	プログラミングに関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。	情報システムの開発、運用及び保守を目指して自ら学び、情報社会の発展に向けたシステムのプログラムに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	プログラミングの基礎	プログラムの基礎、構造 計算 文字列の出力 プログラムの記述 入出力命令 変数と計算式 リスト 条件分岐 繰り返し 関数 など	a:プログラムの基本について理解している b:プログラムの基本について理解したうえで、自分で正しい命令文をつくれる c:プログラムの基本文を通して、より広く深い学びに取り組み、適切かつ効果的に活用しようとしている	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価 発表　など
2学期		モジュール （日時・乱数） CUI・GUI	a:プログラム（モジュールの基本）について理解している b:モジュールの基本について理解したうえで、自分で正しい命令文をつくれる c:モジュールの基本文を通して、より広く深い学びに取り組み、適切かつ効果的に活用しようとしている	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価 発表　など

3学期		複雑なプログラム	a:複雑なプログラムの構造について理解している b:自分で正しいプログラムを構築できる c:プログラムを通して、より広く深い学びに取り組み、適切かつ効果的に活用しようとしている	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 小テスト 考査	成果物 ワークシート 自己評価／相互評価 発表　など